

■現状（課題の背景）

能登空港とは

輪島市、穴水町、能登町にまたがる木原岳周辺に、2003年7月7日に開港し、ANAが運航する利用便が一日2便位と、フジドリームエアラインズなどの国内チャーター便が利用することがある。



- 1 のと空港の利用者数が他県に比べて少ない（図1）
- 2 国内線の本数を増やす



■課題

能登空港を活性化させるには

■解決策

- ①利用者を増やす
- ②能登空港の知名度をあげる



■解決策

(1) 外国人観光客の数を増やす

①通訳者を設ける

- 能登の人気のある場所に常駐（例）千枚田、輪島の朝市
- 現地で説明を受けることによってより記憶に残り、満足してもらい、また来たいと思わせる

②台湾や韓国、中国の人に向けたツアーの計画

- 外国人宿泊客数の国別は、台湾が最も多く、それに続いて中国、韓国などの日本の近隣のアジア諸国が多い。

〈外国へのPR方法〉

- ・Youtube等のオンライン動画広告やtwitter広告など
- ・twitterやinstagramを利用したSNSでのレビュー
- ・雑誌 → 上記2つよりは手間がかかるが、信頼が得やすい



誰でも手軽に、世界規模で情報共有ができる！

(2) 日本人観光客の数を増やす

①都市で行われるイベントでのPR活動

- (例) 能登展(大阪)
- 能登の魅力をPRする

☆和倉温泉 ☆千枚田 ☆珠洲岬 ☆のとじま水族館 ☆世界一長いベンチ

②空港でたくさんのイベントを開く

- ・能登の美味しいもの市を開く(能登の食材を使用した料理を提供)
- ・飛行機の中や整備士の仕事の見学会、または体験型の説明会を開く



(3) 外国人と日本人の観光客を増やす

①能登空港に飲食店や雑貨店を設ける

- コンビニや書店などを設けることによって飛行機の離発着以外の利用の場とする

②能登空港を拠点とするバスツアー

③能登空港利用による値引き

- 能登空港を利用した人にお土産をひとつプレゼントや、宿泊代を安くするなどといった利用者にとってお得なサービスを設ける

〈現在のイベント〉

- ・のとキリシツツジフェスティバル
- ・セスナ体験飛行
- ・のっぴーグラスを作ろう
- ・おらが故郷の国自慢 能登の各地域を紹介

■結論

都市や能登空港でたくさんのイベントを行い、能登の魅力を発信することで外国人も日本人もたくさん呼び寄せて、能登空港を活性化することができる。